「令和２年度に実施した仕事」の振返りシート（Ａ：裁量有）

記入日　令和　３年　４月　１日

事業名称	財産管理事務費　[庁用自動車管理事務事業]								
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費		事業番号	3
事業の種別	☐市単独　☑補助対象　☐市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）								
担当部署・課長名	総務管財　課	用地管財　係	課長名	宮田　智雄					

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策名】　効率的でスリムな行財政運営の実現

施策番号	行　－　2
総合計画書（ページ）	122

1 この仕事の目的

❶ 誰（何）を対象にしていますか。	1 ❶の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
集中管理車及び総務管財課専用車（用地車を除く）	車両台数
❷ ❶をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	2 ❷の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
適正な維持管理 確実かつ効率的な配車	集中管理自動車実稼働率（開庁日の10時と14時で実際に使用されている集中管理自動車台数/集中管理自動車台数
❸ そのために何をしましたか。	3 ❸をどのくらい行いましたか（活動指標）
①定期点検・車検の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④バスの運行委託及びタクシーの借上等を行い、各課の申請に基づきバス・タクシーを配車する。 ⑤燃料補給、洗車等の維持管理業務 ⑥自動車保険（任意）の加入・解約・請求手続きを行う（各課所管車両含む全庁用自動車）。	①定期点検・車検の実施台数 ②修繕件数 ③車両増加台数 ④使用件数 ⑤燃料補給回数 ⑥加入・解約台数

2 指標の推移

		単位	過去2年間の実績 平成30年度実績	過去2年間の実績 平成31年度実績	当該年度 令和２年度実績	成果目標 令和３年度目標	成果目標 令和４年度目標
対象指標	1の数値	件	28	30	31		
成果指標	2の数値	%	49.1	44.3	50.0		
目標	2の目標値	%	100	100	100		
目標	目標値設定の考え方	効率的な配車を目指すため100%とした。					
活動指標	3の数値	①台	26	26	28		
		②件	13	8	10		
		③台	3	4	3		
		④件	76	73	10		
		⑤回	464	397	279		
		⑥件	82	84	85		

3 経費

		単位	平成30年度実績	平成31年度実績	令和２年度実績
事業費（実績）		円	21,722,571	25,661,417	20,910,283
財源	一般財源	円	21,722,571	16,558,417	8,334,283
財源	特定財源（国・都・他）	円	0	9,103,000	12,576,000
財源	（うち受益者負担）	円	0	0	0
人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3
人件費（目安）	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0
人件費（目安）	職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,514,000
人件費（目安）	職員人件費(再任用)	円	0	0	0
事業費＋人件費		円	24,195,771	28,154,417	23,424,283

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費（再任用職員以外）
年間単価は、　8,380,000円
時間単価は、　　4,300円
で計算してください。
【算出根拠】平成31年度決算数値。
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

4 環境変化等

（１）開始年度　28　年度以前

（２）環境の変化

庁用自動車の効率的な運用のため、自動車の集中管理を開始したことによる。
各課の事務事業を円滑に遂行する手段として、集中管理車及び総務管財課専用車を適正に管理し、効率的に運用を行うことが目的である。
令和２年度までに、電気自動車７台（集中管理車）、プラグインハイブリッド車１台（総務管財専用車）を導入した。

事　業　名　称	財産管理事務費　[庁用自動車管理事務事業]				
担当部署・課長名	総務管財　課	用地管財　係	課長名	宮田　智雄	

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和２**年度中**に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ ☑ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催　②実行委員会・協議会　③事業協力　④事業委託　⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：　　　　）⑦後援・場の提供　⑧その他（　　　　）
	(2)令和３年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和２年度に課題とした内容（「平成３１年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記）	
	電気自動車を令和２年度にも購入予定のため、電気自動車の稼働率をあげていく必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和２年度に実施したこと。	
	電気自動車の使用動画を作成し、使用に抵抗がないようにした。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	電気自動車が増加したため、充電設備等を含めた管理を検討する。	
8	施策貢献状況　（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名：　効率的でスリムな行財政運営の実現 ☑ なっている　☐ 環境の変化等により成果が減少している　☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある　事業名（　　　　）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7　課題（3）」の課題及び「8　施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☑ 拡大　☐ 現状維持　☐ 縮小　☐ 休止　☐ 廃止 【取組内容】 ・長期的な更新計画にもとづき、車両の買い替えを定期的に行う。 ・システムによる予約申請のルールの徹底。 ・電気自動車等の環境負荷の少ない車両の導入台数の増加。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	・定期的な車両の買い替え（可能な限り、環境負荷の少ない車両）に要する予算の確保 ・予定変更等に伴い不要となった車両の予約について、こまめにシステム上の削除・時間修正するように周知徹底を行う。	